

外郭団体の見直しに向けた取組方針について（令和6年度末時点）

団体名	公益社団法人 堺観光コンベンション協会	所管局・部・課	文化観光局 観光部 観光推進課
-----	---------------------	---------	-----------------

取組方針		
団体の観光事業への注力のため、市を含めた他の実施主体へのコンベンション事業移管の検討		
取組内容及び実施予定年度	団体・市の取組実績	実施状況
事業移管の検討及び実施（令和3年度）	[令和3年度] ・事業実績評価の結果、費用対効果の観点等から、コンベンション事業は引き続き本協会が行うことが効率的であると整理。堺観光コンベンション協会では堺市での受入れに注力し、コンベンションの誘致については大阪観光局等との連携を推進。 ・引き続きコンベンション事業を担う中で、補助対象とするコンベンションの規模や補助額の見直しを実施。	実施済

取組方針		
効果的な情報発信など、会員への誘引効果がある取組による会費収入の拡大や新たな事業の創出により自主財源を確保		
取組内容及び実施予定年度	団体・市の取組実績	実施状況
デジタルコンテンツ等の導入（令和3年度）	[令和3年度～令和6年度] ・さかい利晶の杜のVRコンテンツや仁徳天皇陵古墳VRツアーを導入し活用。	実施済
新たな自主財源確保策の検討（令和4年度）	[令和3年度] ・オンライン自転車タクシーツアーやオープンファクトリーといった新たな事業を実施。 ・会員獲得に向けて、ホームページやSNSでの会員情報の発信やメルマガ配信などの取組を実施。 [令和4年度～令和5年度] ・第49回、第50回堺まつりの開催にあたり、事業者広告の掲載などを実施。 [令和6年度] ・仁徳天皇陵古墳VRツアーや、さかい利晶の杜のVRコンテンツを活用し財源確保。 ・第51回堺まつりの開催にあたり、事業者広告の掲載などを実施。 ・旅行商品収入の増加に向け、新たに堺旧港を活用したクルーズ船ツアーを販売。	

取組方針		
市内外から多数の観光客が訪れるより魅力的な観光コンテンツとなるよう、今後の堺まつりのあり方を検討		
取組内容及び実施予定年度	団体・市の取組実績	実施状況
堺まつりを見直して実施（令和3年度）	[令和3年度～令和5年度] ・参加体験型のストリートフェスに企画を見直し、令和4年10月に第49回堺まつりを開催。（延べ38.4万人の来場者となり、従前の堺まつりと比較して来場者が37.8%増加。また、アンケートで99%が「次回も参加したい」と回答。） ・令和4年に続き、令和5年10月に第50回堺まつりを参加体験型のストリートフェスとして開催。（節目の第50回であり、記念事業として開催し、体験型イベントの追加や大小路筋での野点を実施したことで、延べ39.2万人の来場者があり、従前の堺まつりより多くの来場者があった。） [令和6年度] ・令和6年10月に第51回堺まつりを開催。イベント企画内容や飲食物販を充実させ、ガイドブックやホームページにエリアごとの特色ある企画内容を掲載し充実を図ったことにより、事前PRの段階でイベントに対する期待を集めることができ、延べ40万人の来場者があり、来場者の増加に繋がった。（昨年同様公道での野点席に加え、ミニワールド茶会と称して中国茶、台湾茶、チェコハーブティの提供を実施。また、堺戎島DOCK（内川河川敷）では、KIX泉州ツーリズムビューロー主催の「泉州グルメサーカス」を実施。）	実施済

取組方針		
情報発信などに関する大阪観光局との役割分担（業務移管の状況）に応じ、補助金の適正額を精査		
取組内容及び実施予定年度	団体・市の取組実績	実施状況
役割分担を踏まえた補助額の精査（令和3年度）	[令和3年度] ・市外向けプロモーションなど大阪観光局が中心的役割を担う事業と堺観光コンベンション協会が注力すべき事業の整理を進め、各事業の見直しや廃止を実施。（R4当初予算：R3当初予算と比較し26,168千円を削減） [令和4年度] ・大阪観光局が中心的役割を担う堺への誘客促進事業と堺観光コンベンション協会が注力すべき堺の魅力あふれるコンテンツ創出に役割を分担し、補助額を精査。（R5当初予算：R4当初予算と比較し29,573千円削減）	実施済